

120917 ヤマトシリアゲ

今回は「120830 ヤマトシリアゲ…」の続編です。

<http://www.pref.osaka.jp/attach/15501/00099022/120830hipup.pdf>

大和葛城山の山頂付近を歩いていたとき、白い花の上にペアの「ヤマトシリアゲ」がとまっていた。

この虫、弱っていたり死んだりした虫の体に細長い口を差し込んで体液を吸う、という食事スタイルなのですが、このときは花の上でくつろいでいたのでしょうか？

金剛山や大和葛城山、岩湧山、二上山などの山頂付近でもこの種に出会うことが多いのですが、今回は9月以降のこの種の撮影写真から、その生態の一端を紹介します。

◆写真①： 白い花の上のカップル

◇花蜜か花粉なども食べるのでしょうか？

(細長い口吻を見ると、花粉を食べるのは難しそうです…)

◆写真②： クモの巣にかかった昆虫を横取り…？

◇ヤマトシリアゲは、クモの巣にかかった虫の上にとまって、体液を吸っていることがよくあるそうです。

◇この写真のみも食事中みたいです。

◇獲物を横取りされたクモはどうしたのでしょうかね…

◆写真③・④： 交尾

◇クモの巣にかかった虫の上で交尾をしていました。

◇♀の方はといえば… その間もしっかり食事中です。

◇産卵のために体力を蓄えているのでしょうかね…

◇さて、この種は…

餌を食べている♂に♀が近づくと、♂はその餌を譲って、♀が食べ始めると交尾をするそうです。

◇この写真でも、食事をしているのは♀だけのようですね…

◇ちなみに、不幸にしてクモの巣にかかった“獲物”は「ツマグロイナゴ」みたいです…

《付 録》

◆写真⑤・⑥： ベッコウハゴロモ

◇「120823 ベッコウハゴロモ…」で紹介した種の続編です。

<http://www.pref.osaka.jp/attach/15501/00099022/1208123hagoro.pdf>

◇何と葉の上で交尾していたのです。

◇“超レア”な画像だと思うのですが…











